

業者を選定するための評価基準

区分		審査項目	審査の視点	指標	配点
技術点	業務実績 業務体制	業務実績	これまでに受注した文化財建造物（国・県・市指定または国登録）の修理改修設計のなかで、最も成功したと認識する事例を1つ取り上げて審査する。	何が成功したのか。 伝統構法でどのように耐震性を上げたのか。 コストとのバランスはどうだったか。	20点
		実施体制	適切な業務を提供できる実施体制か。	担当者数、配置、構成等。 各担当者が過去10年間に手掛けた文化財建造物（国・県・市指定または国登録）の実績。	10点
	実施方針・提案内容等	建物修理改修の方向性	（仮称）本證寺史跡公園内での位置づけ、安城市の考える方向性。	方向性が安城市の目指すものと合致しているか。	5点
		建物修理改修の内容	修理改修の内容と、安城市が目指す活用方法との整合性。	修理改修内容が安城市の目指す活用方法と合致しているか。文化財としての価値を維持しているか。	20点
		耐震補強の手法と概算経費	耐震補強の手法と内容。また、そのための経費（修理改修工事全体の経費）。	耐震補強の手法と経費のバランスの取れたものであるか。 修理改修工事全体の概算経費額は適切か。	20点
	プレゼンテーション	説得力 取組み姿勢	説明に説得力があるか。	説得力、論理性 業務への意欲、積極性。	5点
	価格点	価格	価格評価	計算式 最低見積価格/当該業者の見積価格×20点 (合計100点中)	
合 計					100点